

市民の命、安心安全な生活を守る仕事。
責任がともなう分、やりがいも大きい。



若原大護さん(1997年生まれ)

惟信高校 出身
愛知東邦大学 人間健康学部卒業

愛知県警察本部

名古屋市中区三の丸 2-1-1
<https://www.pref.aichi.jp/police/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校を卒業→大学へ進学→公務員試験対策講座を受講→警察官採用試験に合格→警察学校に入学→交番勤務を経験→特別警戒隊に配属

——学生時代

「バレーボール部に入り、部活動に励みました。厳しい監督のもと毎日練習に専念。体面や精神面が鍛えられましたし、チームワークの大切さを学ぶことができました。将来は体を使う仕事がいいという思いがあったので、漠然とですが警察官という仕事に頭の中に取りました」

——大学時代について教えてください。

「高校卒業後、愛知東邦大学に進学しました。筋肉や身体の構造、スポーツ科学や心理学など、運動に関することを中心に学びました。瞬発力をつけたい、持久力をつけたいなど、それぞれの目的に適したトレーニング方法についても学びました」

公務員試験に向けた対策は？

「1年次から大学の公務員試験対策講座の『東邦STEP』を受講しました。一般教養試験の対策として、過去問を解きながら試験に出やすい箇所や重要部分を中心にわかりやすく教えてもらいました。独学で勉強するよりも、効率的に対策ができたと思います。論文や面接の対策もあり、不安なく試験に臨むことができました」

——仕事について

「半年間、警察学校に入り、法律の知識、柔道、剣道、逮捕術など、警察官として働くうえで必要な基礎を学んでいきます。その中で大切だと感じたのは組織の一員としての自覚や仲間との絆です。その意識は今も仕事に取り組みうえで大切にしています。その後、2年半、交番勤務を

——メッセージ

「まずは、警察官採用試験に合格する必要があります。私は大学で対策講座を受講したので、とても心強かったです。将来、公務員を目指す方には受講をお勧めします。学生時代、私が大切だと感じたのは、やること、決めたことは最後までやり切ることです。私にとってはそれが部活動でした。継続したことが自分の力になっていくことを実感しています。あとは、「人を助けた」という強い気持ち。その気持ちが警察官として働くうえで一番大事だと思います」



ありがとうございます。

部活動に熱中した高校時代。継続することの大切さを実感。

愛知東邦大学に進学。公務員試験対策講座「東邦STEP」を受ける。

特別警戒隊として勤務。市民の命、安心安全な生活を守る。

18歳

22歳

25歳



先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>

